

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	みやき町立三根西小学校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳、学活、全ての教育活動をおとして、思いやりの心で人と接することを伝えてきた。特に、してもらってうれしかったことを「いいこといっぱいカード」に記入し、給食時に紹介する活動は成果が上がる取り組みであった。今後も児童の心を育むための取組を継続していく必要がある。</li> <li>・食生活アンケートで、朝食喫食率は100%で表彰を受けた。今後も家庭に学校での取組やアンケートの結果等をお知らせし協力して取り組みを進めていきたい。また、本校の児童は休み時間等、外で遊ぶ習慣が身に付いている。体力向上のために、これからも外遊びを推奨したい。</li> <li>・地域には、学校での様子を学校便りや学校ホームページ等でお知らせすることにより、学校に足を運んでもらえることが多くなった。中学校へのスムーズな移行も視野に入れて、中学生によるあいさつ運動や体育大会ボランティアの派遣などの小中連携の取組が充実してきており、継続したい。</li> </ul>
------------------	--

2 学校教育目標	やさしく、かしこく、たくましい三根っ子の育成
----------	------------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①やさしい子を育む（思いやりを持ち、助け合う子供の育成）</li> <li>②かしこい子を育む（進んで学び、よく考える子供の育成）</li> <li>③たくましい子を育む（生き生き活動する元気な子供の育成）</li> </ul>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全職員による共通理解と共通実践</li> <li>○校内研究の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上</li> <li>○授業力が向上した教師85%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の推進を図る。</li> <li>・全員年間1回以上の研究授業を行う。</li> <li>・講師招聘により、授業力の向上を図る。</li> </ul>			
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</li> <li>●いじめの早期発見、早期対応体制の充実</li> <li>◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上</li> <li>○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的に対応できていると回答した教員85%以上</li> <li>◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童(小学6年生)80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳に関するアンケートを実施する。</li> <li>・仲よし集会や縦割り活動等で、自己肯定感や自己有用感の高揚を図る。</li> <li>・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを作成・見直しを行う。</li> <li>・いじめの対応についての研修・会議を年間に3回以上行う。</li> <li>・キャリアパスポートの活用を図る。</li> <li>・「夢の教室」とおとして、6年生児童に夢をもつことや夢に向かって努力することの大切さを実感させる。</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育推進教師</li> <li>・人権・同和教育担当者</li> <li>・教育相談担当</li> <li>・特別活動担当</li> <li>・生徒指導担当者</li> <li>・管理職</li> <li>・教務主任</li> <li>・各教科主任</li> </ul>
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」</li> <li>●運動習慣の改善や定着化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「健康に食事は大切である」と考える児童95%以上</li> <li>●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育の授業を年間1回以上、各学級で行う。</li> <li>・朝の健康観察で、朝の喫食の実態把握を毎日行う。</li> <li>・チャレンジスポーツの紹介を行い、取組を推進する。</li> <li>・縦割り縄跳び大会を行い、運動に対する意欲を高める。</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育担当者</li> <li>・体育主任</li> <li>・特別活動担当</li> </ul>
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退勤日や学校閉庁日を設定する。</li> <li>・衛生委員会等を通じて、勤務実態の共有を図り、業務改善の意識を高める。</li> <li>・校務シェアボードや校務サーバー等のICT機器の利活用を推進し、会議の時間短縮や分掌事務の効率化を図る。</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職</li> </ul>

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○チーム学校としての取組の推進	○地域連携、幼保小連携、小小・小中連携、外部機関との連携の推進	○「効果的な地域連携、幼保小連携、小小・小中連携、外部機関との連携が行われている」と考える教師80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の安全確保や各種行事の効果的・効率的な実施のために地域との連携を図る。</li> <li>・小1ギャップや中1ギャップの軽減のために、幼保小連携、小小・小中連携の推進を図る。</li> <li>・配慮を要する児童やその保護者の支援のために、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等外部機関との連携を図る。</li> </ul>			

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
----------------	---